

# Tilt-Alert (建機用 傾斜警報器)



●[簡単装着ガイド\(動画\)はこちら](#)



●[ユーザー登録はこちら](#)

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
取扱説明書をよくお読みいただき、[ユーザー登録](#)をした上で、正しくお使いください。

## はじめに

- 本製品を安全にご使用頂くために、安全上のご注意に記載されている内容を必ずお読みください。
- 本装置は、建設機械本体の前後左右の傾き状況を検知し、フラッシュ光と警報音でオペレーターに注意を促す装置です。本装置は建設機械を操作する方自身の注意力と判断力に変わるものではありません。本装置からの通知を参考に、常に運転者自身が最適な判断をし、安全な運転を心がけてください。警報に従わなかった場合、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 本装置は、装着する機械や設備に設定された転倒角度とは関係なく、予め本機に設定された一定の角度で光・警告音を発する装置です。装着機械や設備の転倒角度に合わせ光・警告するものではありません。
- 本装置は、建設機械の転倒や身の安全を保証するものではありません。実際の作業は細心の注意を払って行ってください。
- 本装置の取付方法は、「キャブ側面ガラス内側面へ吸盤で取付ける」方法と、「キャブ側面柱部分へ磁石で取り付ける」方法があります。運転者と事前に打合せの上、装着場所に適した方法で装着ください。
- 本装置への給電方法は、建設機械のシガライターソケット(12vまたは24v)と単三電池3本のいずれかの方法があります。



## お買い上げ品の確認

- 本体1台
- 付属品
  - ・USBポート付きシガライター電源ソケット(12v/24v兼用) 1個
  - ・本体足用シリコンカバー(磁石取り付け用) 2個
  - ・簡易傾斜計 1個
  - ・フック付き吸盤(白) 2個
  - ・磁石取り付け用ビス 2本(短)
  - ・インシュロック 10本
  - ・吸盤(黒) 4個
  - ・脱脂クリーナー 1枚
- 取り付けキット補修部品  
吸盤(白)はメーカ レック(LEC)、レバー式 吸盤フック 4.5×3×7.5cm H-606 を使用しております。  
吸盤(黒)はメーカ イネックス(INEX)、日本製 強力吸盤 車用カーサンシェード用を使用しております。
- 取扱説明書(本書)

本製品には電池を付属していません

## 安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、以下の事項を必ずお守りください。

 禁止	電池を火中に投入したり、加熱したりしないでください。	 必ず実行	電池の液漏れや点滅表示動作は、定期的に確認してください。
	キズやヘコミなど変形した電池や改造された電池、指定された以外の電池は使用しないでください。		電池はプラスとマイナスの向きを確認して、正しくセットしてください。
	プラスとマイナスを金属類でショートさせないでください。		万が一電池が液漏れした場合は、すぐに使用を中止し、漏れた電解液を拭き取って新しい電池に交換してください。電解液により電池ホルダーが腐食している場合には、修理依頼してください。
	古い電池と新しい電池を混ぜたり、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。		使用時には、電池キャップの緩みやプロテクターのズレが無いか確認してください。
	実装部品の取り外しや交換などの改造はしないでください。		
	USB電源の他のポートに合計2A以上の負荷を接続しないでください。		

## 各部の名称とサイズ



### 建機本体のシガライターソケットからの給電方法

- ①電源コードを付属のシガライター電源ソケットのUSBポートに差し込みます。
- ②電源ソケットを建設機械のシガライターソケットに差し込みます。
- ③建設機械のエンジンを始動します。
- ④本装置の電源スイッチを入れて、電源ランプ(緑色)が点灯し、フラッシュ光(赤色)と警報音になる事を確認ください。
- ⑤作業終了後は、建設機械の電源スイッチと連動して電源が切れます。



- 配線は、可動部を避けて下さい。断線やショートによる火災の危険があります。
- 配線作業は、必ず本装置の電源スイッチと建設機械の電源SWがOFFの状態で行ってください。
- 建設機械のシガライターソケットから電源を供給する場合は、電池は使用しないでください。電源スイッチを切り忘れると、電池が消耗します。

### 電池を使用する場合の供給方法と電池交換方法

- ①製品底面の電池キャップを反時計回りに回して、取り外します。
- ②電池ホルダーへ電池の極性に注意して、電池を差し込みます。
- ③電池キャップを時計回りに回して取り付けます。

※電池交換後、キャップをきつく締めないでください。次に外す際、外れにくくなります。

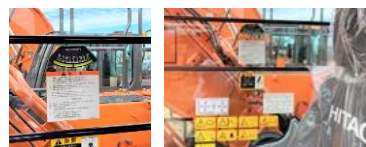


- 電池の交換作業は、必ず電源スイッチがOFFの状態で行ってください。
- 同じ単3形電池でも、容量によって動作時間が変わります。
- 電池は、単3形アルカリ電池3本を使用してください。所定の電池以外を使用されると故障の原因になります。



●【キャブ内側 側面ガラスに取り付けて使用する場合】

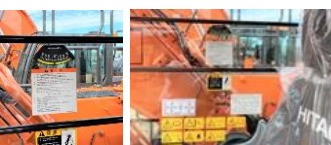
- ① 警報角度を設定します。
  1. 装着ステーを横にVの字に広げ、電池キャップ（蓋）を廻して取り外します。
  2. 13度でフラッシュ光→18度で警報音  
18度でフラッシュ光→23度で警報音  
どちらかのパターンを「警報角度設定スイッチ」にて設定してください。
  3. 蓋を閉めて、装着ステーを上側の磁石の位置まで平行に戻します。  
※マグネットは、磁力が強いネオジムを使用しています。精密機器、時計、磁気製品、磁気カードには近づけないでください。  
※一度ステーを外された場合、もとに戻す際にはビスは適切なサイズを使用ください（吸盤仕様には長いビス、磁石仕様には短いビスをご使用ください）
- ② 装着面のガラスと吸盤を付属の脱脂クリーナーできれいに清掃してください。ダストや油分が残ると早期に脱落します。
- ③ 本製品を垂直に取り付けるための準備として、付属の簡易傾斜計を右図の様にプロテクタを使って、本体の横方向に入った線と並行に挟み込んで取り付けます。  
※本体設置後に簡易傾斜計を取り外しますので、裏面の両面テープは剥がさないでください。
- ④ 水平固土上に車体を設置し簡易傾斜計で0度を確認しながら、本体を垂直にガラス面に吸盤で張り付けてください。  
※吸盤面へのコードの挟み込みに御注意ください。
- ⑤ フック付き吸盤のレバーを起こし、ブラケット上部の穴に差し込み、がたつきを抑える為に、少し持ち上げながら吸盤を押し付けて、レバーを降ろしてください（2個）。
- ⑥ 電源コードをシガライター電源ソケットに差し込み、建設機械本体のシガライターソケットに装着してください。
- ⑦ 電源ハーネスを付属のインシュロックで適当な間隔で固定してください。  
※可動部を避けて配線下さい。断線によるショートや火災の恐れがあります。
- ⑧ 簡易傾斜計を見やすい位置に両面テープを使って貼り付けて下さい。  
※装着面は付属の脱脂クリーナーで清掃してください。取り付け強度が不十分な場合は、適時両面テープ等を追加して脱落防止を図ってください。
- ⑨ 建設機械のエンジンを始動します。
- ⑩ 本装置の電源スイッチを入れて、電源ランプ（緑色）が点灯し、フラッシュ光（赤色）と警報音が鳴る事を確認ください（初期動作確認）。
- ⑪ 作業終了後は、建設機械の電源スイッチと連動して電源が切れます。



- 配線は2.5mあります。無理に引っ張らず、余裕をもって取り廻し固定してください。可動部は避けて下さい。
- 装着後、吸盤が剥がれたり破損した場合は、取り付け面を良く清掃し補修部品を使って再取付をお願いします。
- 落下は故障、破損の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 本製品は、建設機械の転倒や身の安全を保証するものではありません。実際の作業は細心の注意を払って行ってください。

●【キャブ内側面柱に磁石で取付けて使用する場合】

- ① 磁石取り付け仕様に変更するために、吸盤（黒）が取り付けられているステーを外します。
  1. 装着ステーと本体を止めているビスをプラスドライバーを使って外し、吸盤（黒）付きステーを取り外し、付属のビス（短）を使って再び磁石を本体に取り付けます。  
※マグネットは、磁力が強いネオジムを使用しています。精密機器、時計、磁気製品、磁気カードには近づけないでください。  
※ビスは適切なサイズを使用ください（吸盤仕様には長いビス、磁石仕様には短いビス）口  
※ビスの締めすぎに注意ください、プラスチックの穴が破損する恐れがあります。
- ② 側面柱への傷つき防止のために、本体足に黄色いシリコンカバーを装着します。
- ③ 電池キャップ（蓋）を閉めます。
- ④ 電池キャップ（蓋）を廻して空け、警報角度を設定します。  
13度でフラッシュ光→18度で警報音、もしくは18度でフラッシュ光→23度で警報音  
どちらかのパターンを「警報角度設定スイッチ」にて設定してください。
- ⑤ 電池キャップ（蓋）を閉めます。
- ⑥ 本製品を垂直に取り付けるための準備として、付属の簡易傾斜計を右図の様にプロテクタを使って本体の横方向に入った線と並行に挟み込んで取り付けます。  
※本体設置後に簡易傾斜計を取り外しますので、裏面の両面テープは剥がさないでください。
- ⑦ 水平固土上に車体を設置し簡易傾斜計で0度を確認しながら、本体を垂直にキャブ内側面柱に磁石を使って装着してください。  
※4か所の磁石で確実に保持されているかを確認ください。脱落の原因となります。
- ⑧ 電源コードをシガライター電源ソケットに差し込み、建設機械本体のシガライターソケットに装着してください。
- ⑨ 電源ハーネスを付属のインシュロックで適当な間隔で固定してください。  
※可動部を避けて配線下さい。断線によるショートや火災の恐れがあります。
- ⑩ 簡易傾斜計を見やすい位置に両面テープを使って貼り付けて下さい。  
※装着面は付属の脱脂クリーナーで清掃してください。取り付け強度が不十分な場合は、適時両面テープ等を追加して脱落防止を図ってください。
- ⑪ 建設機械のエンジンを始動します。
- ⑫ 本装置の電源スイッチを入れて、電源ランプ（緑色）が点灯し、フラッシュ光（赤色）と警報音が鳴る事を確認ください（初期動作確認）。
- ⑬ 作業終了後は、建設機械の電源スイッチと連動して電源が切れます。



- 配線は2.5mあります。無理に引っ張らず、余裕をもって取り廻し固定してください。可動部は避けて下さい。
- 装着後、本体にずれが生じた場合は、再び簡易傾斜表示計を使って垂直に取り付けてください。
- 落下は故障、破損の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 本製品は、建設機械の転倒や身の安全を保証するものではありません。実際の作業は細心の注意を払って行ってください。

## 警報音量の設定について

電池キャップを開け、警報音量切替スイッチを切替えることによって、音量(大/小)をお選びいただけます。  
 ※初期出荷時は「大」に設定されています。  
 ※「小」は「大」の約半分程度の音量となっています。



## 取り扱い上のご注意

- 長時間、水などに浸したり、流水などで洗わないでください。
- 分解はしないでください。回路部分に触れると、静電気破壊を起こすことがあります。
- 製品の汚れは水を含んだ柔らかい布で拭いてください。(シンナー・ベンジン・ガソリン・油などで拭かないでください。)
- 設置を中止する場合や、保管をする場合は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。動作していると無駄な電力を消費します。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。液漏れによる故障の原因となります。
- 破棄処理は、各市区町村の定める分別区分に従って、処分してください。
- 本製品を車両に取り付けて一般公道を走行することはできません。各関係機関の許可を得て、正しくご使用ください。

## 仕様

分類	電源	表示部	LED	色	点灯方式	動作	動作時	待機時	昼夜間視認距離	警報音	使用温度	質量
建機用 傾斜警報器	シガーソケット電源	3面	2W × 9	赤	閾値	1種 (変則点滅)	平均3W	平均0.4W	1km以上	「大」90dB 「小」84dB (10cm)	-20～60℃	630g (吸盤、コード等込)
	単3形アルカリ乾電池3本(4.5V)						連続7時間 間で電池寿命	連続約3ヶ月 で電池寿命				580g (吸盤、電池等込)

※連続動作時間、連続待機時間は、周囲の温度、使用する電池などによって変わります。時間内でも電池の寿命に伴って、徐々に減光していきます。なお、ここではアルカリ乾電池を使用した場合です。  
 ※欧州RoHS指令対応品です。

## 故障かな！？

～～～修理を依頼する前に、一度お確かめください～～～

- 動作が停止した(電源ランプ緑が不点灯)場合は、以下の理由が考えられます。
  - ▶ 電源コードで動作している場合、コードが抜けた/切れた。 ▶ コードの接続、断線を確認してください。
  - ▶ 電池で動作している場合、電池が切れた。 ▶ 電池を交換してください。
- フラッシュ光、警報音が鳴りっぱなしになる場合は、以下の理由が考えられます。
  - ▶ 本体の傾斜が設定値を超えている。 ▶ 本体を垂直な位置に戻してください。
- 設定した傾斜で警報が光らない/警報音が鳴らない場合は、以下の理由が考えられます。
  - ▶ 警報角度設定スイッチが反対に設定されている。 ▶ 一度電源を切って正しい設定に戻してから、再度電源を入れてください。
  - ▶ 電源を入れてから警報角度設定スイッチを切り替えた。 ▶ 一度電源を切って正しい設定に戻してから、再度電源を入れてください。
  - ▶ 本体の傾斜が設定値に達していない。 ▶ 本体が警報角度設定値を超えていないか確認してください。(傾斜角度検出に際し、±1.5°程度の誤差が生じる場合があります)
  - ▶ 本体を車体に対して垂直/水平に正しく設置していない。 ▶ 車体に対して本体が正しく垂直/水平に設置されているか確認してください。または、車体の前後左右の向きに対して斜めに置かれてる構造物に設置していないか、確認してください。
- 発光面が1面しか光らない場合は、以下の理由が考えられます。
  - ▶ 電池を使用している場合、電池が消耗している。 ▶ 電池を新しいものに交換してください。

上記の対策を行っても症状が治らない場合は、本体内の電気回路の故障が考えられますので、その際はメールにて製品サポートまで御連絡願います。

## 製品サポート

- 本製品の標準保証期間は、商品受領後1年間です。商品を受け取りましたら、ユーザー登録をお願い致します。右のQRコードをスマホで読み取って、登録フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。
- 製品サポートについては、下記にて受け付けております。

製品サポート窓口  
 メールアドレス: [ta-support@hamadatec.co.jp](mailto:ta-support@hamadatec.co.jp)  
 電話番号: 049-243-5616



ユーザー登録はこちら

- 本操作マニュアルの内容の一部または全部を当社の承諾なしに転載または複製する事はできません。
- 本操作マニュアルの内容並びに製品の仕様、付属品等は予告なく変更される場合があります。
- 製品に関する最新・補足情報については 株式会社 **ハマダテクス** <https://www.hamadatec.co.jp/> にアクセスしてください。

製作: 株式会社 **ハマダテクス**  
 〒350-1155  
 埼玉県川越市下赤坂137  
 TEL:049-243-5616 FAX:049-246-7478  
 監修:日立建機(株)

Rev.7.4-2312